

富津市教育委員会定例会議 会議録

1 会議の名称	令和7年度第7回富津市教育委員会定例会議
2 開催日時	令和7年10月15日(水) 10時00分から10時30分まで
3 開催場所	市役所4階 401会議室
4 審議等事項	○報告事項 報告第1号 富津市部活動地域移行協議会設置要綱の一部を改正する告示について 報告第2号 富津市指定文化財の指定を解除する告示について 報告第3号 富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会設置要綱を制定する告示について 報告第4号 専決事項の報告について(後援申請)
5 出席者名	山下教育長、今關教育長職務代理者、池田委員、嶋野委員、藤平委員、中山教育部長、樋口教育総務課長、大畑学校教育課主幹、川島教育センター所長、篠田生涯学習課長、長谷川公民館長、鶴岡教育総務課庶務係長、小坂教育総務課主事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	(理由) 情報公開条例第23条第1項3号に該当のため
8 傍聴人数	0人 (定員 6人)
9 所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和7年度第7回富津市教育委員会定例会議 会議録

発言者	発言内容
山下教育長	<p>10月になっても25度を超える夏を感じる日が続いていましたが、ようやく秋の訪れを感じるようになりました。9月下旬から10月にかけて、全ての学校を訪問し、子どもたちの様子を見てきました。どの学校でもいきいきと学校生活を送る子どもたちの姿を目にし、安心しているところです。教職員においては、「授業でかえる」について意識して取り組んでいる様子が見られ、残り半年で授業の変容、さらには子どもたちの変容に期待するところです。</p> <p>本日は、報告事項が4件です。それでは会議を開催します。忌憚のないご意見をお願いします。</p> <p>本日の議事録署名委員の指名ですが、今關委員にお願いします。</p> <p>最初に、教育長報告を申し上げます。1ページをお開きください。</p> <p>1の第52回きみつ母と女性教職員の会 大会は、10月4日に君津教育会館を会場に開催されました。君津地方4市の女性教職員と母親の代表が参加し、戦後80年の節目を迎、あらためて平和の大切さをどのようにつないでいくかなどをテーマに語り合いました。</p> <p>2の君津支部中学校駅伝大会は10月7日に富津公園を会場として行われました。富津市からは富津中と大佐和中が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。御質問、御意見はございますか。</p> <p>それでは、各課報告をお願いします。</p> <p>始めに学校教育課からお願いします。</p> <p>はい。学校教育課から報告いたします。</p> <p>9月26日・29日、10月1日～2日に、市内全小中学校の校長を対象に、人事評価制度にかかる中間面談を実施しました。</p> <p>面談は、2次評価者である教育長と、1次評価者である学校教育課長が各学校を訪問し、校長が作成した目標申告シートの中間申告内容に基づいて行いました。今後は、2月に最終面談を実施し、校長の人事評価へつなげていきます。また、人事評価制度は、県費負担職員全員を対象に、教頭が1次評価者、校長が2次評価者として同様に実施しています。あわせて、当日は、限られた時間ではありましたが、教頭との面談</p>
大畠主幹	

	<p>や授業参観も行いました。</p> <p>9月30日、市役所大会議室において、学校運営協議会委員全体研修会を開催しました。これまで管理職を対象に実施してきた研修会の流れを受け、今回は委員を対象に行ったものです。研修会では、南房総教育事務所の吉野達也社会教育主事を講師に迎え、「学校と地域が連携・協働していくための具体的な方法や事例」についてご講演をいただきました。講演後の質疑応答では、パイロット校として先行して取り組んでいる青堀小、大貫小、天羽小の委員から、これまでの取組における工夫や課題について発言があり、今後の活動のさらなる方向性を共有する機会となりました。</p> <p>10月3日、第2回教育支援委員会を401会議室で開催しました。今回の対象は、就学前児童14名、小学生5名、中学生1名の計20名でした。協議の結果、特別支援学校への就学判定が就学前児童4名、小学生1名、中学生1名。特別支援学級での就学判定が就学前児童8名、小学生4名となり、それ以外の児童については通常学級での判定となりました。</p> <p>10月9日、吉野小学校および佐貫小学校において、南房総教育事務所長の学校訪問が行われました。本年度の富津市教育の基本姿勢「授業でかえる」に基づき、授業では児童の実態に応じた集中力を持続させる工夫や、協働的な学習活動が見られ、児童・教職員ともに真剣に授業に取り組む姿が確認されました。また、学校経営部会では、学力向上、指導力向上、働き方改革について協議が行われました。</p> <p>10月11日、天羽地区においてスクールバス試乗会を実施しました。学校再配置に伴い、徒歩での通学が困難となる児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる通学を導入する予定です。試乗会は、児童が実際の通学経路を体験し、安全で安心なバス通学への理解を深めることを目的に実施しました。当日は、30名の児童と保護者が参加し、想定した停留所から乗車した後、到着地点の天羽小学校において、市教育委員会およびバス委託会社から運行に関する説明を行いました。</p> <p>なお、佐貫地区の説明会は、10月18日に実施する予定です。</p> <p>以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p>
山下教育長	

	<p>続いて教育センター、お願いします。</p> <p>はい。教育センターから報告いたします。</p> <p>9月26日、401・404会議室にて、第4回はまかぜ教育相談を開催しました。本教育相談は、対象児童生徒、保護者、学級担任が参加し、不登校、発達障害、問題行動など様々な悩みについて、心療内科精神科の専門医による相談を実施しております。今回は、2件の相談があり、専門医のご助言をいただきました。今年度は、計4件の相談となりました。</p> <p>記載が漏れおり申し訳ございませんが、9月13日から10月12日まで、君津支部新人体育大会が行われました。結果の詳細は事務局でまとめているところですので、次回報告をさせていただきます。</p> <p>10月7日、富津公園にて君津支部中学校駅伝・ロードレース大会が行われました。先ほど教育長から報告がございましたとおりですが、結果の一覧につきましては、次回配付いたします。女子で2位になった富津中学校は、県大会に出場します。</p> <p>10月9日通学路安全対策協議会を401会議室で開催しました。協議会に先立ち、学校及び母と女性教職員の会から、市へ危険箇所の改善要望があります。その要望を受け、通学路安全対策協議会の委員である市関係者・道路管理者・警察等で、8月末に現地確認、合同点検を行いました。通学路安全対策協議会では、合同点検の結果を踏まえ検討した改善策について報告し、今後の方向性を協議しました。今年度は、小学校30件、中学校8件の要望がありました。道路管理者、警察、校長代表、市関係者等で危険箇所の現地写真と地図を確認しながら、いつまでにどのような改善をするのか、または、学校にどのような安全対策を依頼するのか等について協議し確認し合いました。今後も子ども達が安全安心に登下校でき、安全安心に地域で活動できるよう努めてまいります。</p> <p>教育センターの報告は、以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて生涯学習課、お願いします。</p> <p>生涯学習課から報告いたします。</p> <p>9月26日、君津地方社会教育委員連絡協議会研修会、臨時理事会・臨時総会が富津公民館多目的室で開催されました。当日は、千葉県社会教育委員連絡協議会二宮会長を講師に迎え、「これから社会教育委員</p>
川島所長	
山下教育長	
篠田課長	

	<p>に期待されること」をテーマに講話があり、「根気よく、おもしろく、楽しみながら」活動することを委員の皆さんに経験としてお話されました。臨時総会の協議内容は、例年地元の企業から頂いていた君津地方推進大会協賛金が受けられなくなったことによる、予算の変更と当該大会の会場を次年度から変更することが承諾されました。</p> <p>10月13日、スポーツの日に、市民ふれあい公園 NIPPON STEEL 陸上競技場及び野球場を会場に、「動いて笑って、つながる富津！」をキャッチフレーズにふれあいスポーツフェスタ 2025 実行委員会主管により、浜田靖一代議士をはじめ多くの来賓、招待者のもと「富津市ふれあいスポーツフェスタ 2025」を開催いたしました。</p> <p>今年は7人制ラグビー女子日本代表として活躍された小出深冬選手のラグビ一体験教室等多くの種目を楽しんでいただく予定でしたが、開会式から降り出した雨により30分ほどの実施にて中止となりました。</p> <p>教育委員の皆様方にもご多用のなか、お運びいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>生涯学習課の報告は、以上です。</p> <p>山下教育長 はい。ありがとうございました。</p> <p>長谷川館長 続いて公民館、お願ひします。</p> <p>長谷川館長 公民館からご報告いたします。</p> <p>9月27日に、令和8年「富津市二十歳の集い」第3回実行委員会を富津公民館で実施いたしました。</p> <p>当日は、前回から引き続き、記念行事や式典の役割分担及び、進行表の確認などについて、話し合いが行われました。なお10月は、会議としては集まらず、それぞれ役割分担をした個々の作業期間として、記念行事のシナリオづくりや、スライドショーブルクリなどに取り組んでおります。</p> <p>次回の開催は11月29日にリハーサルを予定しています。</p> <p>公民館からの報告は以上です。</p> <p>山下教育長 はい。ありがとうございました。</p> <p>各課報告の中で御質問・御意見はございますか。</p> <p>中山部長 はい。中山部長。</p> <p>中山部長 9月議会について報告が漏れてしましましたので、教育長報告の下の</p>
--	--

	<p>欄を御覧ください。</p> <p>9月議会は、9月2日から30日まで開かれました。教育部に関する議案としては、議案第4号令和7年度富津市一般会計補正予算（第3号）について可決されました。議案第8号令和6年度富津市一般会計歳入歳出決算の認定についても、審査を経て承認されています。</p> <p>一般質問につきましては、代表質問として、政友会の平野明彦議員から小中学校の再編等について質問があり、個人質問では、市民の声の富井議員から猛暑に関するエアコン、部活動の地域展開について質問がありました。</p>
山下教育長	<p>議会質問も含めて、何か質問はありますか。</p> <p>無いようですので、次に報告事項に入ります。</p> <p>報告第1号「富津市部活動地域移行協議会設置要綱の一部を改正する告示について」説明をお願いします。</p>
川島所長	<p>はい。報告第1号について説明いたします。</p> <p>3ページを御覧ください。</p> <p>本改正は、国、県が示すガイドラインにおいて部活動地域移行の文言が、部活動地域展開に変更されたことによるものです。この変更に伴い、5ページにございますように富津市部活動地域移行協議会設置要綱の中の「地域移行」の文言を全て、「地域展開」へと変更しました。</p> <p>報告は、以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>報告第1号について、御質問はございますか。</p> <p>はい。嶋野委員。</p>
嶋野委員	<p>今回、部活動地域移行から部活動地域展開に改めるということですが、これは文言の違いだけなのか、部活動地域展開を進めていくうえで何か違いがあるのでしょうか。</p>
川島所長	<p>基本的には大きく変わる点はございませんが、地域移行というと部活動を地域クラブに移行して、学校と切り離していくというイメージが強いですが、地域と連携しながら、地域の中の学校としてともに歩んでいくといった視点から進めていくことから、地域展開という文言となるのだと理解しております。今は、部活動を地域に移行する前の土台作りとして、地域と連携しながら進めている状況であり、地域で活動してください</p>

	<p>さる協力者を増やしながら、地域学校が一丸となって子どもたちの成長に向けて取り組んでいくところです。</p>
山下教育長	<p>地域クラブへの移行によって、学校は部活動には関わらなくなるということではなく、ともに進めていくという意味合いから文言が変化するものだと私たちも考えています。</p>
嶋野委員	<p>個人的な思いですが、回答をいただいたように、移行というと部活動を完全に地域に任せてしまう、学校が関与しないような意味合いを感じますが、地域展開というと、学校も中心的に関与するような姿勢を感じ、部活動の教育的義務を継承できるようにも思えます。しかしながら、部活動の指導を地域の方にお願いすることによって、学校と地域クラブの連携が複雑化し、学校に新たな調整の業務が増える可能性もあると思います。そして地域にとっても学校の手足となって部活動の面倒を見るだけの存在となり、そんな気持ちで任せても本気になるはずがないと思いますし、ましてや地域クラブに十分な報酬がなければ引き受け手が見つからないのではとも思います。今でも陸上部の生徒などは、各大会や記録会に、例えば君津メディカルなどクラブチームで参加していますが、聞くところによると相応の受講料がかかるそうです。そのほか、保険代や入会金等、費用面からみても、陸上をやりたいと思うすべての生徒がクラブチームで活動することは不可能かと思います。このような問題もありますし、部活動地域展開をスムーズに進めるのは難しいことだと思います。私は以前から言っていますが、今後も学校が部活動の責任をもって学校の担当の先生と部活動ができるように教員の人数を増やして、教員の負担を減らして、部活動の指導ができる体制を整えるしかないと思います。</p>
川島所長	<p>市としては、子どもたちの活動機会が保障されることを1番に考え、携わる教職員や保護者の声を聞きながら進めていきたいと思います。</p>
山下教育長	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p>
篠田課長	<p>他にありますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第2号「富津市指定文化財の指定を解除する告示について」説明をお願いします。</p> <p>報告第2号、富津市指定文化財の指定を解除する告示について、説明いたします。</p>

	<p>6ページを御覧ください。</p> <p>令和7年9月18日付官報告示で、内裏塚古墳群として国指定史跡となった古墳のうち、7ページに記載の上野塚古墳、九条塚古墳、古塚古墳、稻荷山古墳、三条塚古墳の当該地につきまして、富津市文化財の保護に関する条例第5条第3項の規定により、国指定史跡としての指定がされたことにより、市指定文化財の指定は解除され、また同条第4項の規定により、その旨を同日にて告示しましたことを報告いたします。</p> <p>以上になります。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>報告第2号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第3号「富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会設置要綱を制定する告示について」、説明をお願します。</p>
篠田課長	<p>はい。報告第3号、富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会設置要綱を制定する告示について、説明いたします。</p> <p>9ページを御覧ください。</p> <p>本告示は、報告第2号にて報告しました内裏塚古墳群につき、古墳群の保存・活用を進めていくための指針となる「富津市史跡内裏塚古墳群保存活用計画」を策定するにあたり、学識経験者等からの意見を幅広く聴取するため、当該委員会の設置、委員構成・任期等、委員会の運営に関し必要な事項を制定するものです。なお、施行日は告示日です。</p> <p>以上になります。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>報告第3号について、御質問はございますか。</p> <p>はい。池田委員。</p>
池田委員	<p>策定にあたって古墳の所有者の方をみると、個人の方、あるいは宗教法人の方もいらっしゃいますが、そういうたった所有者の方たちの策定に対しての立ち位置、関わり方というか、例えば、委員会の構成員になるなどの考えはありますか。</p>
篠田課長	<p>所有者の方につきましては、古墳群として指定されることに対して、事前に同意をいただいておりますが、保存活用計画にあたって、委員会の構成員となつていただくことは考えていません。</p>

池田委員	計画内容等は、所有者の方にも意見を聴いたり、知っていただくべきことだと思いますので、連携を大事にして進めてほしいです。
山下教育長	他にありますか。 無いようですので、次に報告第4号「専決事項の報告について」、説明をお願します。
樋口課長	報告第4号について、説明いたします。 12ページを御覧ください。 後援申請がありましたので、富津市教育委員会行政組織規則第9条第1項の規定により、13ページに記載のとおり3件をそれぞれ承認しましたので、同条第2項の規定により報告するものです。 個別の内容についての説明は割愛させていただきますので、ご了承ください。 以上でございます。
山下教育長	はい。ありがとうございました。 報告第4号について、御質問はございますか。
藤平委員	無いようですので、次にその他に入ります。 委員の皆様から何かございますか。 はい。藤平委員。 学校教育課から報告のありました学校評議員学校運営協議会委員全体研修会について、学校運営協議会の中で学校支援ボランティアを組織として導入していただきたいという意見が出ているのを評議員の方からお聞きしたのですが、市の広報紙にも学校の支援をしてくださる方を募集する記事が数か月前に掲載されていたと思いますが、富津市全体として、学校支援ボランティアを組織し、学校の環境整備、学習支援、安全支援などで、市内の全小中学校に関わるような組織を構築していく計画はありますか。
大畠主幹	学校支援ボランティアの構築というのは、各協議会で決定したことを実施するにあたって、必要なことだと考えています。先行して実施している3校以外は、今年度から協議会が始まりましたので、どういったものを目指していくのか協議をしている最中です。今後市全体として、学校支援ボランティアを組織していくにあたって、現在は前段階として、学校から要望のある環境整備や見守り活動などを、これまでの活動を継

	<p>続する形で実施していますが、今後支援ボランティアを募集していくにあたっては、その方々にも協力を依頼できたらと考えています。</p> <p>木更津市では、何十年も歴史を持った、学校支援ボランティア組織があると思いますので、参考にしながら取り入れるのもいいのではと思いました。</p> <p>感想になってしまいますが、教育委員として学校へ訪問する機会が多々あり、私が小学生時代に通っていた富津小学校は、教室の天井がシミになっていたりして、校長となかなか直らないと話をしたのを覚えています。やはり大きなところ、目立つところから優先的に直していくなければいけないということはわかりますが、目立たないところはどうやって直していくのか考えてしまいます。ボランティアの形で保護者の方や、地域の方が直してくれた話を時々聞くのですが、直す技術がある程度、情報が届かないで、その機会が生じない人も中にはいると思います。予算がなかなか付かなくとも、そういう方たちの手によって直せるところは学校の中にたくさんあると思いますので、何か情報を発信する方法が見つかればいいなと思います。</p> <p>私が飯野小学校でPTA活動をしていた時は、地域青年会みたいなものに入って、年に1回の奉仕作業の時に学校の要望を聞いて、自分たちができるものは直したりするような活動を続けていました。</p> <p>修繕については、学校からたくさんの方の要望が出ていますが、緊急性など優先順位をつけて少しづつ直しているのが現状ですので、学校は学校で教頭を中心に直せるものは直しているので、何か機会があれば伝えていただければと思います。</p> <p>他にありますか。無いようですので、教育総務課、お願いします。</p> <p>はい。それでは、次回の教育委員会会議の日程でございますが、11月13日、木曜日、午前10時から、401会議室において開催を予定しておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>以上で教育委員会定例会を終了させていただきます。</p>
藤平委員	
今關委員	
嶋野委員	
山下教育長	
樋口課長	